

第6回委員会における各委員からのご意見と対応状況について

No.	議 題	委 員	意見要旨（実際の発言内容を整理して記述）	対応状況
1	第4回委員会後の取組状況等について （散水試験の追加検討について）	藤原委員長 笹原委員	・新処分場についても、廃止時の調査手法等を、検討しておく必要がある。 ・廃止時の調査手法等について、管理・運営マニュアルにも記載していくこと。	委員会当日にご説明しましたとおり、現在、策定を進めています管理・運営マニュアル中に記載します。（第5回委員会議事録のとおり(P.7, 8)） また、内容については、次回以降の委員会において、ご説明いたします。
2	第5回委員会後の取組状況等について （保護マットの追加について）	藤村委員	・他県の公共関与による産業廃棄物管理型最終処分場で同様の構造の施設がどのくらいあるのか示してほしい。 ・安全性を最優先としながらも、設備投資にあたっての増額となるため、合理的な理由を示してほしい。	委員会当日にご説明し、ご了解をいただきました。 （第6回委員会議事録のとおり(P.7)）
3	第5回委員会後の取組状況等について （浸出水処理施設の基本設計（脱塩処理）について）	笹原委員	・脱塩処理について、受注メーカーが提案している処理方式（電気透析法）だけでなく、現行施設と同じ処理方式（逆浸透法）の検討、コストなどの比較し、説明できるようにしておくべき。	委員会当日にご説明し、ご了解をいただきました。 （第6回委員会議事録のとおり(P.13)）
4		笹原委員	現行処分場（日高）及び新処分場（佐川）の整備に係るイニシャルコストを比較した資料を提示してほしい。	本委員会 資料P.3でご説明いたします。
5		藤原委員長	性能発注方式において、施設整備のみならず、長期間にわたる維持管理についての性能を求めているのか。	委員会当日にご説明し、ご了承いただきました。 （第6回委員会議事録のとおり（P.14））
6		島岡委員	逆浸透膜法について、いつ頃から新規事業として導入されなくなったのか。	委員会当日にご説明し、ご了承いただきました。 （第6回委員会議事録のとおり（P.15））
7	第5回委員会後の取組状況等について （中間覆土材の費用比較について）	藤村委員	・中間覆土の材料を購入した場合と現場の石灰岩を活用した場合の費用比較を作成し、説明すること。	委員会当日にご説明し、ご了解をいただきました。 （第6回委員会議事録のとおり(P.16)）
8		藤村委員	・中間覆土材を使用するタイミングや回数はあるのか。 ・中間覆土材の規格はあるのか。	委員会当日にご説明し、ご了解をいただきました。 （第6回委員会議事録のとおり(P.17)）
9	第5回委員会後の取組状況等について （今後の労務単価の上昇や資材高騰への対応（費用）について）	藤村委員	・再利用は難しいという結論は理解できる。一方で、廃棄物管理の未来の方向性という意味で、各関係部署間を超えた先進的な取り組みを今後も検討されるとよい。	委員会当日にご説明し、ご了解をいただきました。 （第6回委員会議事録のとおり(P.18)）

第6回委員会における各委員からのご意見と対応状況について

No.	議 題	委 員	意見要旨（実際の発言内容を整理して記述）	対応状況
10	南側斜面の対策工法の一部変更について （対策方針及び対策工法）	笹原委員	・表層対策についてセメント改良土と植生工を二重に実施する必要があるのか。工法、費用などの比較設計を行い、説明資料を追加すること。	説明資料を作成し、笹原委員を含む全委員に報告し、了承いただきました。 （R6年12月）
11		石川委員	・南側斜面の植生管理について、下にセメント改良土があるので、木本類は伐採し、在来のイネ科の植生ができるような維持管理が好ましい。	委員会当日にご説明し、ご理解をいただきました。 （第6回委員会議事録のとおり(P.24)）
12		島岡委員	・これまで実施していたボーリング調査では、今回の変状は予期できなかったのか。 ・掘削土量はどのくらいになるのか。また、中間覆土材として再利用するのか。	委員会当日にご説明し、ご理解をいただきました。 （第6回委員会議事録のとおり(P.26)）
13	総事業費及び事業スケジュールについて （概算総事業費について）	笹原委員	・事業費の増加、コストの縮減等、わかりやすい資料の作成のうえ、説明することが重要。	委員会当日にご説明し、ご理解をいただきました。 （第6回委員会議事録のとおり(P.18)）
14		藤村委員	・土木工事が終わらないと、建築工事に着工できないのか。	委員会当日にご説明し、ご理解をいただきました。 （第6回委員会議事録のとおり(P.29)）
15		藤原委員長	・この度の南側斜面对策費用で、編柵工を止めることで相当な額を削減できているが、どのようなもので、なぜいらなくなったのか。	委員会当日にご説明し、ご理解をいただきました。 （第6回委員会議事録のとおり(P.29)）
16	工事中の環境モニタリングの結果について	谷地森委員	・猛禽類のモニタリング結果について、工事区域に「サシバ」の飛来はあったか。 ・来年度以降の調査で、飛来頻度のようなものも合わせてモニタリングすることを提案する。	委員会当日にご説明し、ご理解をいただきました。 （第6回委員会議事録のとおり(P.32)）
17		花嶋委員	・資料中の「サシバ」の写真は現地で撮影された「サシバ」であれば、現地で撮影されたことを明記するなど、資料中の記載方法を工夫すべき。	委員会当日にご説明し、ご理解をいただきました。 （第6回委員会議事録のとおり(P.33)）
18		花島委員	・遮水工の施工など、施設が完成すれば見えなくなる部分について、写真や動画などしっかりと記録を残しておいた方がよい。その際、何年先でも確認できるような仕組みでしっかりと残してほしい。可能であれば、地域住民の現地視察なども行うと、より施設に対しての理解が深まるとともに、次へもつながる。	委員会当日にご説明し、ご理解をいただきました。 （第6回委員会議事録のとおり(P.33,34)）